

工事店様用

全量買取向け

ZMPMCD エコめがね

モバイルパックマルチコネクト

<パワコン接続タイプ>

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナ-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル 新電元製 パワーコンディショナ用 Ver1.2

SV センサ設定ツール 設定内容	
<PCS メーカー>	新電元
<PCS 型式>	「SOLGRID シリーズ PVS□□□」
対象型式 :	PVS010T200
PVS012T200B	PVS9R9T200
PVS010T200B	PVS9R9T200A
PVS9R9T200B	PVS005T200
PVS9R9S200B	PVS010S200

注意事項

パワーコンディショナについての詳細な手順は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、パワーコンディショナメーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1. 目的

エコめがねモバイルパックマルチコネクタ（以下 モバイルパックMC）をご利用いただくにあたって、「パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル」の作成・施工手順を記載しています。

2. システム構成

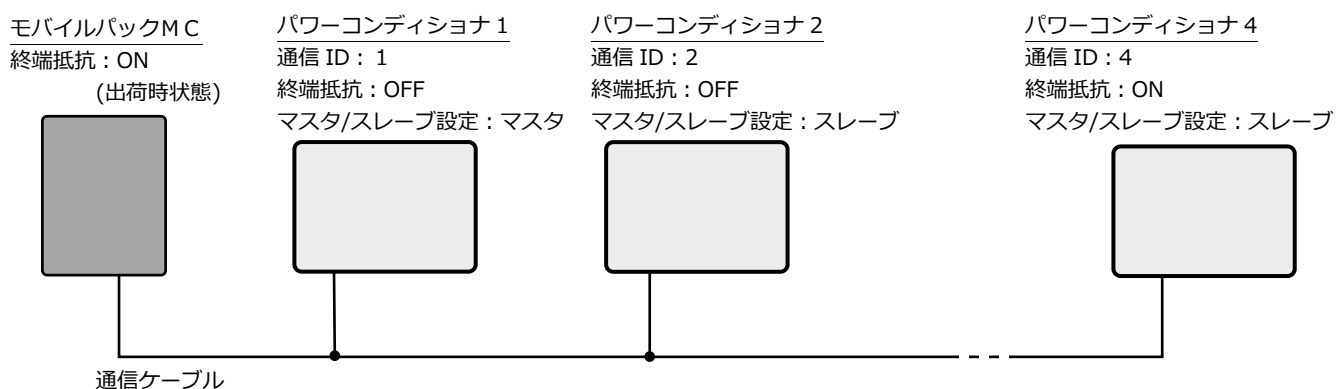
以下に、パワーコンディショナのシステム構成例を記載します。

※ 型式によって接続可能台数が異なります。詳しくは弊社 HP をご確認ください。

https://partner.eco-megane.jp/mc_pcs.html

<注意> モバイルパックMCと新電元工業製の「SOLGRID MANAGER」等と併設でご利用いただくことはできません。

PVS012T200B 4台接続時



3. パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルの作成

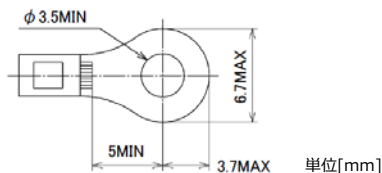
3-1. 準備部材・工具

パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル作成に必要な部材、工具を以下に記載します。

●部材 (パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル 1 本あたり)

部材名	サイズ・規格	数量
丸型圧着端子	R1.25-3(最大圧着端子幅 6.2 mm)	4 個
丸型圧着端子 (絶縁スリーブ付)	穴径 M3.5 [*]	3 個
シールド付きツイストペアケーブル	KPEV-SB 0.5 mm ² ×2P(市販品)	1 本
絶縁テープ	-	必要な長さ

※丸型圧着端子 適合サイズ (モバイルパック MC 通信線端子台側)



<参考>パワーコンディショナ間通信ケーブルの部材について

パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、以下に記載します。
 パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等もご確認ください。

部材名	サイズ・規格	数量
丸型圧着端子	R1.25-3(最大圧着端子幅 6.2 mm)	(PCS 台数×7)個
シールド付きツイストペアケーブル	KPEV-SB 0.5 mm ² ×2P(市販品)	(PCS 台数-1)本

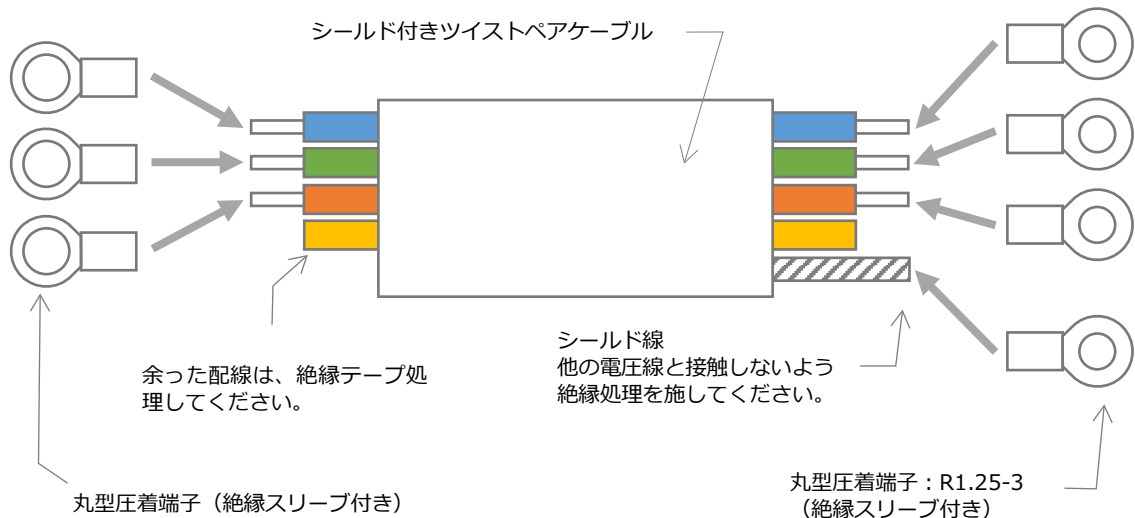
●工具

工具名	サイズ・規格	個数
ニッパー	-	1
ペンチ	-	1
プラスドライバー	-	1
トルクドライバー	-	1
圧着工具	圧着端子サイズに適合するもの	1

3-2. パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブルの加工

●ケーブル加工方法

パワーコンディショナ - SVセンサ間の距離に応じた長さのシールド付きツイストペアケーブルを用意し、信号線およびシールド線の端に、丸端子を圧着してください。

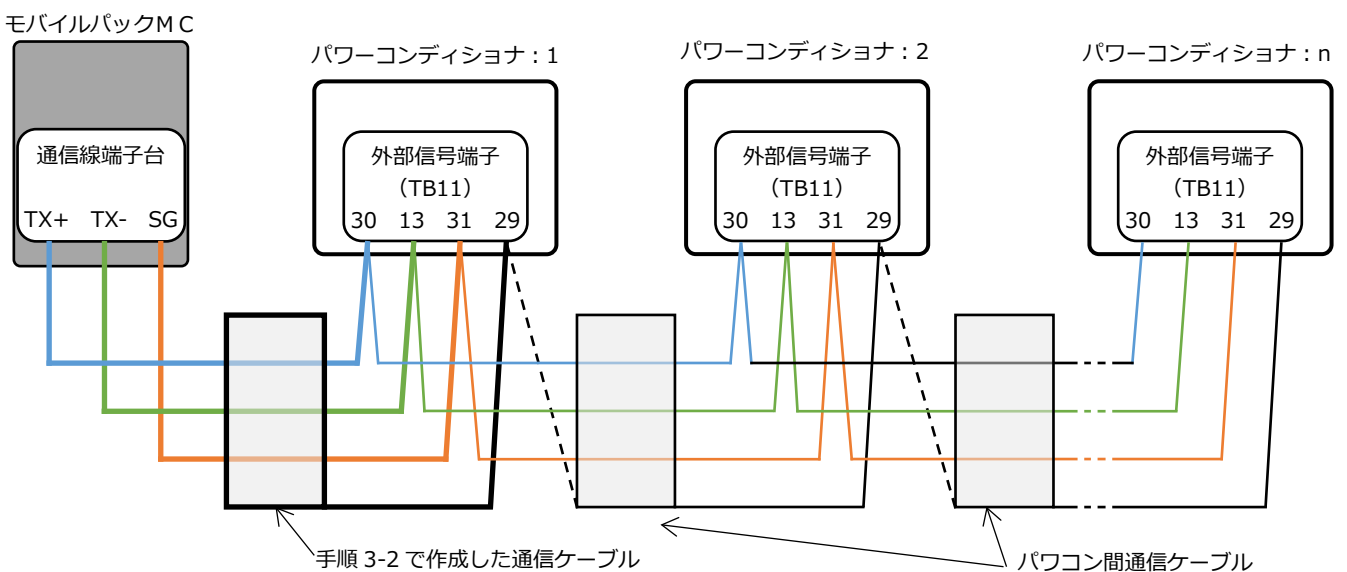


4. 通信ケーブルの取付け方法

<注意> 機器が運転停止している状態、すべての入カスイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

モバイルパックMCの通信線端子台とパワーコンディショナの外部信号端子 (TB11) の間を、手順 3-2 で加工したケーブルで接続してください。また、パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、別途パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等をご確認の上、接続してください。

●ケーブル取付け全体図



※シールド線の点線部を接続することで、ノイズなどの影響を改善できる場合があります

※別途お客様にてご準備

※通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めいたします。

● パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル取付け部分図

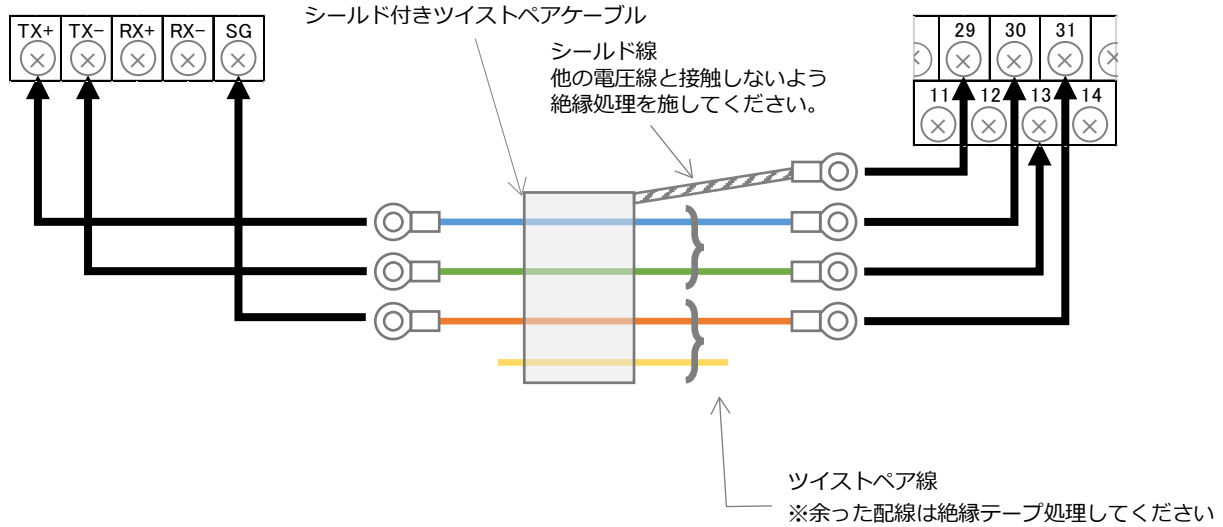
※ケーブル取付け全体図でシールド線の点線部を接続していない場合の図です

モバイルパックMC通信端子台

締付トルク : 0.8~1.4N・m

パワーコンディショナ 外部信号端子(TB11)

締付トルク : 0.5~0.6N・m



● 結線対応表

モバイルパックMC 通信端子台	パワーコンディショナ 外部信号端子	
信号名	端子番号	信号名
TX+	30	外部通信 A(+)
TX-	13	外部通信 B(-)
SG	31	外部通信 GND
-	29	外部通信 FG

5. その他

5-1. 終端抵抗の設定

接続パターンにより、SVセンサ及び、パワーコンディショナの終端抵抗を設定してください。
<注意> 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。
パターンAでご使用される場合は、SVセンサの終端抵抗の設定は不要です。

【パターン A (推奨)】モバイルパック MC が通信経路上の終端に設置されている場合

・モバイルパック MC :

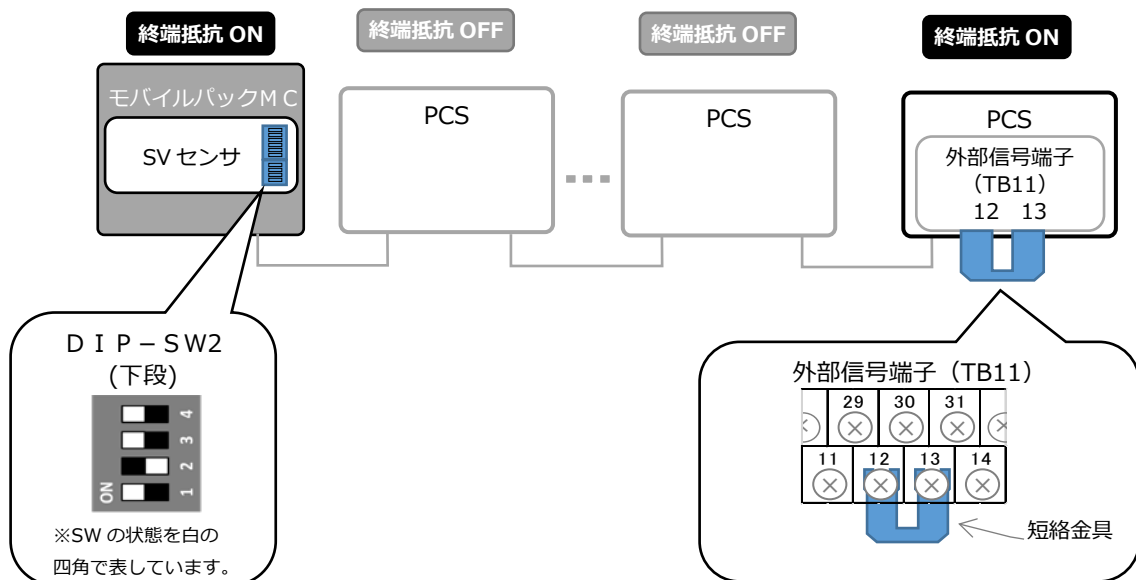
SVセンサの終端抵抗設定を有効 (DIP-SW2 No.1 を ON) に設定してください。

・パワーコンディショナ :

終端にあるパワーコンディショナについて、外部信号端子 (TB11) の 12・13 間を短絡金具で短絡してください。※短絡することで終端抵抗が挿入されます。

また、通信経路の間にある他のパワーコンディショナについては、外部信号端子 (TB11) 12・13 間の短絡金具を外してください。(外した短絡金具は、パワーコンディショナの所定の場所に取り付けて保管してください。)

●終端抵抗の設定 (パターンAの場合)



【パターンB】モバイルバックMCが通信経路上の終端に設置されていない場合

・モバイルバックMC：

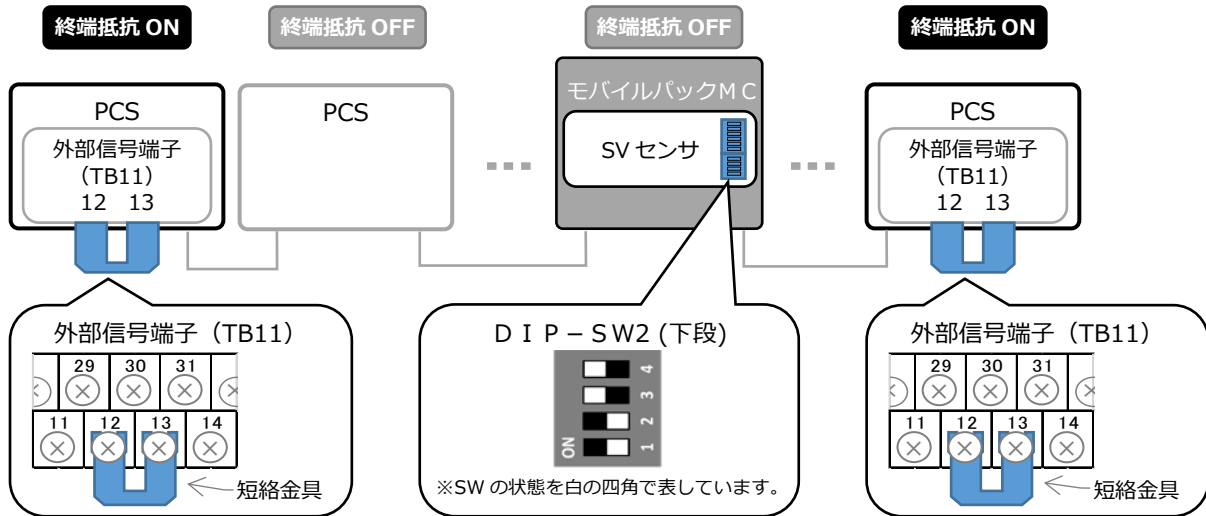
SVセンサの終端抵抗設定を無効（DIP-SW2 No.1 を OFF）に設定してください。

・パワーコンディショナ：

終端にある2台のパワーコンディショナについて、外部信号端子（TB11）の12・13間を短絡金具で短絡してください。※短絡することで終端抵抗が挿入されます。

また、通信経路の間にあるパワーコンディショナについては、外部信号端子（TB11）12・13間の短絡金具を外してください。（外した短絡金具は、パワーコンディショナの所定の場所に取り付けてください。）

●終端抵抗の設定（パターンBの場合）



5-2.通信ID(局番)の設定

パワーコンディショナの取扱説明書、施工・保守マニュアル等に従い、パワーコンディショナの通信ID(局番)を設定してください。

※ 通信ID(局番)は1～9の範囲で設定してください。

5-3.マスタースレーブ設定

パワーコンディショナの型式が「PVS□□□T200」、「PVS□□□S200」の場合、通信ID(局番)の設定と共に、マスタースレーブの設定が必要になります。パワーコンディショナの取扱説明書、施工・保守マニュアル等に従って設定してください。

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

06-6221-0222

受付時間

10:00 ~ 17:30